

はちバス

北西部コースまっぷ

滝山城址
滝山自然公園



運賃は100~200円!

地域のみなさまが利用しやすいように、市役所、鉄道駅、病院、市民センター、ショッピングセンターなどを循環します。

- ...はちバス独自のバス停
- ...路線バスのバス停が併設
- ...路線バスとの乗り継ぎ情報

沿線の見どころ案内①

★A【安養寺】
室町時代初期に創建され、境内には「塩野倉之助」の碑があります。春はツツジ、秋は紅葉が見どころで、鐘つき堂も趣があります。(バス停2番「安養寺」前)

★B【北浅川】
急流を緩和するための長大な三段の堰と荒々しい岩場の景観は圧巻です。川沿いにメタセコイアの化石など古い地層が見られます。周辺の河川敷は、夏場は草が生茂るため、訪れるには春や秋が適しています。(バス停14番「元八王子市民センター」から徒歩5分ほど)

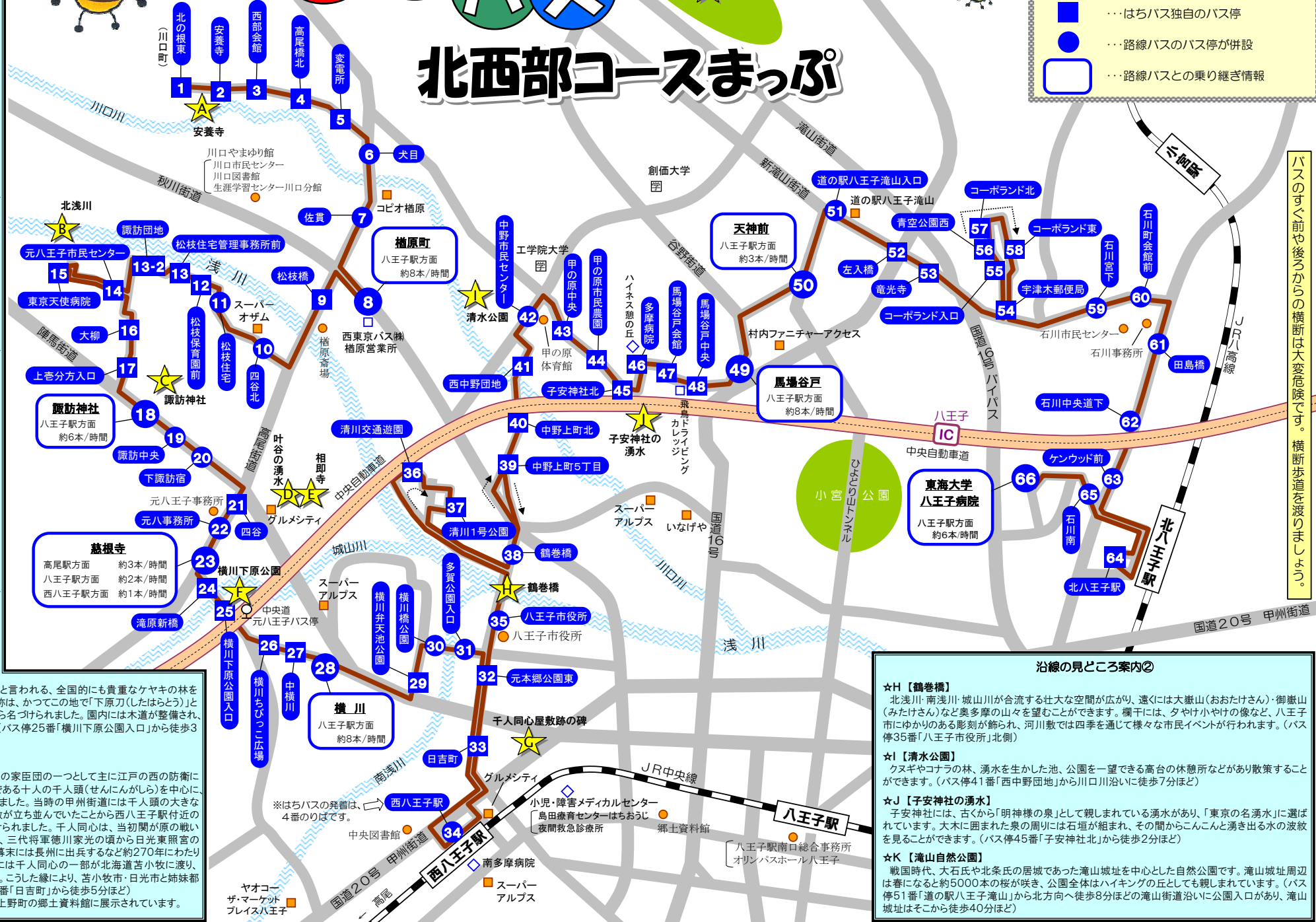
★C【諏訪神社】
江戸時代初期の創建。毎年8月26・27日には「お諏訪様の祭り」として親しまれている「まんじゅう祭り」が行われ、多くの人で賑わいます。祭り当日は、市の文化財である獅子舞、四谷の龍頭舞(りゅうずまい)が奉納されます。(バス停18番「諏訪神社」前)

★D【叶谷の湧水】
ゆったりと流れる湧水の上に覆(え)のきの大木が覆いかぶさる様は、一時代前の風情を感じさせます。地域のオアシスとして親しまれている湧水は、「東京の名湧水」にも選ばれています。(バス停21番「四谷」から東方向へ徒歩10分ほど)

★E【相即寺】
室町時代後期の創建。山門左手には八王子城落城後に北条方の武者を供養した地蔵堂(年3回一般公開)があり、153体の地蔵が納められています。戦争の悲話を伝えるランドセル地蔵があることも有名です。(バス停21番「四谷」から東方向へ徒歩10分ほど)

★F【横川下原公園】
古いものは樹齢100年以上と言われる、全国的にも貴重なケヤキの林を保存した公園です。公園の名称は、かつてこの地で「下原刀(したはらとう)」という刀が製造されていたことから名づけられました。園内には木道が整備され、散策を楽しむことができます。(バス停25番「横川下原公園入口」から徒歩3分ほど)

★G【千人同心屋敷跡の碑】
八王子千人同心は、徳川家の家臣団の一つとして主に江戸の西の防衛にあたるために組織され、旗本である十人の千人頭(せんにんがしら)を中心に総勢1000人で構成されていました。当時の甲州街道には千人頭の大きな屋敷と100戸程の同心の屋敷が立ち並んでいたことから西八王子駅付近のこのあたりは「千人町」ともつけられました。千人同心は、当初関原の戦いや大坂の陣に参戦しましたが、三代将軍徳川家光の頃から日光東照宮の「火の番役」も担うようになり、幕末には長州に出兵するなど約270年にわたり活躍しました。江戸時代後期には千人同心の一部が北海道苦小牧に渡り、北海道開拓の祖となりました。こうした縁により、苦小牧市・日吉市・姉妹都市になっています。(バス停33番「日吉町」から徒歩5分ほど)
*千人同心に関する資料は、上野町の郷土資料館に展示されています。



バスのすぐ前や後ろからの横断は大変危険です。横断歩道を渡りましょう。

沿線の見どころ案内②

★H【鶴巻橋】
北浅川・南浅川・城山川が合流する壮大な空間が広がり、遠くには大嶽山(おおたけさん)・御嶽山(みたけさん)など奥多摩の山々を望むことができます。欄干には、夕やけ小やけの像など、八王子市にゆかりのある彫刻が飾られ、河川敷では四季を通じて様々な市民イベントが行われます。(バス停35番「八王子市役所」北側)

★I【清水公園】
クヌギやコナラの林、湧水を生かした池、公園を一望できる高台の休憩所などがあり散策することができます。(バス停41番「西中野団地」から川口川沿いに徒歩7分ほど)

★J【子安神社の湧水】
子安神社には、古くから「明神様の泉」として親しまれている湧水があり、「東京の名湧水」にも選ばれています。大木に囲まれた泉の周りには石垣が組まれ、その間からこんこんと湧き出る水の波紋を見ることができます。(バス停45番「子安神社北」から徒歩2分ほど)

★K【滝山自然公園】
戦国時代、大石氏や北条氏の居城であった滝山城址を中心とした自然公園です。滝山城址周辺は春になると約5000本の桜が咲き、公園全体はハイキングの丘としても親しまれています。(バス停51番「道の駅八王子滝山」から北方向へ徒歩8分ほどの滝山街道沿いに公園入口があり、滝山城址はそこから徒歩40分ほど)